



大浦小学校の学校給食の様子



鈴木善十郎議員

## 学校給食

# 学校給食を導入すべき

## 「愛情弁当」の考えに変更はない

あり、家庭でつくる弁当を基本としている。そして、「愛情を込める親の願いの弁当」によって、親と子の

絆が一層深く強くなることを願っており、従来の考えに変更はありませんので、ご理解願いたい。

### 質問

学校給食法第1条には、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資し、かつ、国民の食生活の改善に寄与するものであることにかんがみ、学校給食の実施に関し必要な事項を定め、もって学校給食の普及及び充実に努めることが明記されています。また、平成17年に成立した食育基本法の第20条では、学校、保育園などにおける食育の推進で、学校給食等の実施を明記しております。以上の法律を踏まえて、学校給食を導入すべきではないか。

### 松尾教育長

「学校給食法」及び「教育基本法」を踏まえて、学校給食を導入すべきであるとのことですが、山田町の基本的な考えは、従来、親が子どものために、一生懸命作ることが親と子の基本になるのではないか、それが命を大切にすることに繋がっているのではないかと考えている。

## 町の考えを聞く

### 障害者支援

## 障害者の差別をなくす啓蒙活動

## 環境づくりが重要

### 質問

身体・知的・精神障害者の当事者や家族の話では、かなり差別があると聞く。まず、山田町から、障害者の差別をなくすための啓蒙活動をしてもらいたい。

### 沼崎町長

障害者から見た場合、社会生活の中で、健常者が意識しないようなことでもさまざまな障壁が存在しているものと思う。中でも情報へのアクセスなど必要な情報が得られないため、社会参加の機会を逸したりすることなどが考え

られるが、障害者でありながらも健常者と同じ生活ができるような環境づくりが重要である。

### 質問

### 沼崎町長

障害者相談支援事業の受託者である社会福祉法人若竹会で、「宮古圏障害者支援センター」はあとふるセンターみやこを本年4月に開業し、障害者の相談内容を見極めながら、ハローワークと連携し就労支援に努めている。